

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2015年6月15日～2015年6月21日】

[当地報道をもとに作成]

平成27年6月30日

在ジョージア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### 【アブハジア】

##### ▼露・アブハジア間の旅客列車の運行(20日)

・露メディアの報道によれば、アドレル(ロシア)・ガグラ(アブハジア)間(約40km)の旅客列車の運行が始まった。乗客定員232名の列車が1日4回運行する。

#### 【南オセチア】

##### ▼露国家院が「同盟と統合に関する協定」の批准を決定(19日)

・露国家院が、2015年3月18日にロシアと「南オセチア共和国」の間で署名された「同盟と統合に関する協定」の批准を決定。

・ジョージア外務省は、ロシアがジョージア領土の併合に向けた措置を進めたとして「協定」の批准を非難する声明を発表。声明では、南オセチアは国際法上の主体ではなく、「協定」への署名のいかなる試みも、国際法の基本的な規範・原則に完全に違反し、法的効力を持たないと述べられている。

### 2. 外 政

##### ▼ヒダシェリ国防相が訪仏(15日)

・ルドリアン仏国防相と会談。国防分野において進められている二国間協力、ジョージアのNATO加盟の展望、ワルシャワでの首脳会議におけるジョージアに対するMAPの付与の意義、地域的な安全保障環境などについて議論。「ル」仏国防相はジョージアの被占領地域の状況に関心を示した。会談後、ヒダシェリ国防相は「ル」仏国防相をジョージアに招待したと述べた。

・「ヒ」国防相はカパナゼ統合参謀長とともに第51回パリ国際航空ショーを視察し、「ジョージアの防空を保障する」先進的なシステムの仏側からの調達に関する契約に署名を行なった。契約の詳しい内容は公表されていない。「ヒ」国防相は、「ジョージアは安全保障・国防能力を強化するチャンスを得た。これはジョージアの国防能力の更なる発展に繋がる長いプロセスの始まりに過ぎない」と述べた。また、公共TV放送のインタビューで、数週間後に別の合意に署名するために再びフランスを訪れると発言。

##### ▼ブルガリア大統領がジョージアを訪問(17日-18日)

・プレヴネリエフ・ブルガリア大統領がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、ウスパシヴィリ国会

議長、ガリバシヴィリ首相と会談し、18日はバトゥミで開催された国際会議「欧州への道」に出席した。

・マルグヴェラシヴィリ大統領との会談では、ジョージア・ブルガリア関係、経済・エネルギー・輸送セクターにおける協力の強化の見通し、黒海地域の安全保障、ジョージアの被占領地域をめぐる状況、ジョージア・露関係などについて議論した。

##### ▼大統領がスロバキアを訪問(19日)

・ブラチスラバで開かれたグローバル・セキュリティ・フォーラムに参加。フォーラムに並行して、スロバキア大統領、英国首相、ポーランド大統領、クロアチア大統領、モンテネグロ首相らと会談。

##### ▼米務省のテロリズム報告書(21日)

・米務省が発表したテロリズムに関する年次国別報告書は、ジョージア政府がテロリズムに対応する基本的な能力を有し、米国と協力しつつ幅広い問題への取り組みを継続しているとする一方、ジョージアについて、「国際的なテロリズムの経路国あるいは発生源となる懸念がある」と述べている。50～100名のジョージア国民がシリアやイラクにおいてアル・カーイダやISILに加わっていると記述。

### 3. 内 政

##### ▼IS戦闘員の勧誘を行っていたとされる容疑者が逮捕される(15日)

・IS戦闘員の勧誘を行っていたとされるパンキシ渓谷住民の男性が逮捕された。また、内務省は同男性に勧誘されて出国しようとしていた男性2名をトビリシ国際空港で逮捕したと発表。

・17日、トビリシ市裁判所は男性らの審理前勾留を命令した。

##### ▼国防省・軍関係者の釈放(19日)

・2014年10月末に光ファイバーケーブルの入札に関連した公金流用の容疑で逮捕され、審理前勾留を受けていた国防省・軍現職員4名と元職員1名について、19日、トビリシ市裁判所は自由民主主義者党の国会議員を保証人として保釈を決定。検察は保釈金を条件とするよう求めていたが認められなかった。

・審理前勾留の期限が迫るなか、前日18日、検察は5名の保釈に対する反対を取り下げると発表。5名の逮捕はイヴァニシヴィリ前首相の指示によって行なわれたと主張しているアラサニア前国防相・自由民主主義者党党首は、被告弁護側の保釈請求が認められる見込みが高いため、検察は体面を保とうとしたとコメント。

## 4. 経 済

### ▼2015年5月の工業製品生産者物価指数(15日)

・国家統計局が発表。前月比 0.8%上昇、前年同月比 9.0%上昇。

### ▼2015年第1四半期のGDP(19日)

・国家統計局の資料によれば、2015年第1四半期の名目GDPは6,838.4百万ラリ(3,298.9百万米ドル)。国民一人当たり1,833.6ラリ(884.5米ドル)。実質成長率は前年同期比3.2%。GDPデフレーターはプラス5.1%。

## 5. その他

### ▼洪水の被害

・13日夜にトビリシ中心部で起こった洪水について、16日、ガリバシヴィリ首相は、被害は甚大であり、復旧の

費用は1億ラリに達するかもしれないと発言。洪水について過去50年でトビリシで最も大規模な自然災害であったと述べた。

・EUは洪水の被害に対する対応のため340万ユーロの支援を発表。

・ナルマニア・トビリシ市長によれば、家屋の損壊により110世帯が移転を余儀なくされた。

・17日昼、洪水の際にトビリシ動物園から逃げだし、付近に隠れていた虎に男性が襲われ死亡した。虎は直後に射殺された。もう1匹の虎が行方不明となっており、捜索が続けられている。

・ガリバシヴィリ首相は、前日に「猛獣はもうトビリシ動物園の外にはいない」と述べたことについて、トビリシ動物園からの報告に基づいたものであったが、誤りであったと謝罪した。